

伊方町議会第67回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
木嶋 英幸 議員	1 防災について	町 長
質問の要旨		
<p>あつという間に2021年も後僅かとなりました。近年、世界中で自然災害により被災されたと言うニュースをよく耳にします。</p> <p>日本でも熱海市で大きな土砂崩れがありたくさんの犠牲者が出たのは皆さんもご承知の事と思います。改めてご冥福をお祈り申し上げます。原因究明の結果、自然災害ではなく開発による盛土が原因で人的災害と証明されました。日本は国土が狭くこれをしていない自治体はないに等しく全国の自治体を震撼させたはずです。</p> <p>平地の少ない佐田岬半島でもかなりの場所で為されているものと思われます。責任の有無は分かりませんが犠牲者を出さない為に一刻でも早く調査をし、対策を練る必要があると思いますが現状と今後の計画をお尋ねします。</p> <p>当町は急峻な所が多く、又高齢化が進んでおり住まいから車の通る道まで出るのにもかなりの苦労をされる地域がたくさんあります。若者でも危ない急な階段の上り下り、毎日何度も使う生活道故に「命の手すり」の設置が必要と思われるが避難道と併せて町内全域を調査し、何ヶ所あってそれにかかる費用がどれくらい必要かを早く検討すべきと思いますがどの様にお考えかお尋ねします。</p> <p>併せて原子力防災に関しても防災訓練はやっているものの避難場所や避難港からの訓練にしか見受けられない様に思われる。そこへ行くまでのアクセス整備が必要ではないか。ましてや対象者は比較的自由に動ける人が殆どのように訓練であるから仕方ないかもしれないが万が一の時に町民全員が避難しやすい環境を造る事は町の責任ではないでしょうか。お年寄りから子供までが生まれて良かった、住んで良かったと言って頂ける伊方町にする為にも是非早急に検討をお願いしたいと思います。以上についてお尋ねします。</p>		